

動き

長野市陸上競技協会 会報 第34号

発行日 平成23年10月15日
発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山 了治
編集人 田島 康彦
URL: <http://nriku.jp/>
E-mail: info@nriku.jp

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保氏

世界ユース4位 全国IH優勝

400m ハードル

瀧澤 彩 (長野高校2年)

◆第9回世界ユース陸上競技選手権大会 4位入賞

58秒80<長野県・長野県高校新>
フランス リール、7月9日

◆平成23年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 優勝

58秒80<長野県・長野県高校新>
岩手県北上市、8月5日



世界ユース選手権大会決勝のレースを終えて



掲揚される長野高校校旗を見上げる選手たち

二つの大会を振り返って

長野高校2年 瀧澤 彩

この夏、2つの大きな大会に400mHで参加し、貴重な体験をさせていただきました。

一つめ、7月6日から10日までフランスのリールで行われた世界ユース陸上選手権大会。日本代表に選出されるとは思っていなかったので、通知が来たときには本当にびっくりしました。海外で試合をするのはもちろん初めてでしたが、試合では驚くほど落ち着いてスタートラインに立つことができ、積極的なレースを展開することができました。その結果、自己ベストタイムの58秒80で4位に入賞し、今季の目標の1つであった長野県記録の樹立を達成できました。大会では多くの国の選手と同じトラックに立ちました。外見や行動は様々でしたが、同じ陸上競技に取り組んでいる仲間としてのつながりを感じました。

二つめは、その1ヶ月後、8月3日から7日まで岩手県の北上市で行われたインターハイ。世界ユース陸上競技選手権大会で、自信に満ちて堂々とふるまう各国の選手たちを目にし、「こうであっていいんだ」と感じてきたことや、昨年度の沖縄インターハイの経験もあって、余裕を持ってスタートラインに立っていました。決勝でも冷静にレースを運ぶことが

でき、優勝という結果を手にすることができました。

こうした貴重な経験をすることができたのは、陸上班の仲間、先生方、長野市陸上競技協会や長野市営陸上競技場の皆様などに支えていただいたのことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

速い選手から強い選手へ

長野高校陸上競技班顧問 内山 みのり

世界ユース選手権大会に出場するにあたり、二人で話し合ってたてた目標は、長野県記録の更新であった。準決勝でその目標をさらっと達成してしまい、決勝での目標は(準決勝通過3番目のタイムで決勝に残ったので)メダルへとかわった。そのため、決勝の58秒80で4位は素晴らしい結果であったが、メダルに届かず残念であったという思いも少なから

☆☆ もくじ ☆☆

- >瀧澤さん世界4位・IH優勝・・・1
- >速い選手から強い選手へ・・・1
- >受章者紹介・・・・・・・・・・2
- >全国高専開催・・・・・・・・・・3
- >富士通長距離クリニック開催・3
- >市陸協を支えて下さる方々・・・4

- >全国IH結果・・・・・・・・・・4
- >Member's Corner_4th・・・・・・5
- >全中・全国高専結果・・・・・・・・5
- >古澤先生を偲んで・・・・・・・・6
- >山口国体結果速報・・・・・・・・6
- >連絡とお願い・・・・・・・・・・6
- >編集後記・・・・・・・・・・・・・6

おめでとうございます

公益財団法人 日本陸上競技連盟 栄章、長野市陸協4名に授与



- ◆秩父宮章 (10月8日)
大竹 義雄先生 (左側の写真右)
- ◆高校優秀指導者章(10月8日)
矢野 清隆先生(中野立志館高校)
- ◆中学優秀指導者章(10月8日)
角田 晃先生(山ノ内中学校)
- ◆少年少女陸上競技指導者表彰
(安藤百福記念章) (8月27日)
古田 新造先生 (右側の写真)

安藤百福記念章は8月の全国小学生大会で、他は国体2日目に授与された。角田先生は公務欠席された。(写真下：秩父宮章授与風景)



ず残っている。現在の目標タイムは57秒65日本高校記録の更新であるが、リールでの走りからすれば、不可能ではないと思っている。

インターハイは、かなり早い段階から優勝を狙っていたということもあるが、OB会に交通費を援助していただき、永井俊彦先生、縣正樹先生の引率のもと長野高校陸上班1・2年生23名に8時間かけて岩手県北上市まで応援に来てもらった。

(想像ではあるが、長野県近県から、班員全員でインターハイの応援に行った学校はないのではないかと思います。) 瀧澤にとっては遠くから応援に来てもらっている、私からすれば、長野高校陸上班全員に優勝する場面を見せたい。終わってみれば、まさに狙い通りの結果であった。今回のインターハイでの優勝は、OBの方々を含め、長野高校陸上班全員でとった優勝でもあると思っている。

『どんな場面においても選手が持っている力を発揮できるようにする。』これが指導者の役割だと思うのだが、実現させるのが難しいと感じることが多くなってきた。瀧澤彩に関しては、今シーズンここまでに、世界ユース陸上競技選手権大会、インターハイと大きな試合で、彼女の實力、持っている力を示すことができている。これは、ただ速いだけの選手ではなく、強さを合わせもった選手へと変わりつつあるからなのではないかと近くにいると思う。私自身がやれることしかできないのだが、指導者の役割を果たせるよう日々努力し、多くの方々から応援していただける『もっと強い選手』になってほしいと願っている。

大会出場にあたり、長野市陸上競技協会から多くの援助をしていただきましたこと深く感謝いたします。今後ともよろしくお願ひいたします。

安藤百福記念章受章にあたって 長野市陸上教室 古田 新造

平成23年度の安藤百福記念章を受章させていただき、ありがとうございました。

授与式は、8月27日～28日の全国小学生陸上大会(横浜市ニッサンスタジアム)初日に行われました。開会式に引き続き、メインスタンドに河野日本陸連会長ご列席のもと、各都道府県の受章者が南の沖縄県から順次一人ひとり紹介された後、日清食品会長から表彰状および楯を頂きました。開会式は9時開始のため、会場には8時10分集合とのことで、前日からの泊まりとなってしまいました。

長野国体の後、長野市のスポーツ宣言都市にならぬ発足した「長野市陸上教室」も、故田中秀雄先生ならびに故宮尾豊美先生のご指導のもと、30有余年の歴史を刻んでまいりました。また、ここ数年は小学生の数も次第に増加し、今では100名を超える受講生になってまいりました。受講生は毎年新しい子供たちですが、30年の月日が流れますと指導者が定年退職を迎え、大変老化してまいりました。また、女性の指導者は若い反面、子育てをかかえながらの参加となり、なかなかバランスの取れた指導ができず苦勞しています。さらに練習会場も大会での使用が多く、シーズン中はメイン・補助競技場とも満足に使用できる日が少なく苦慮しています。ここ2～3年の選手の怪我も競技場外での練習が原因となり頭を痛めています。今後も指導者の高齢化が進む中ではありますが、若い指導者の参加を期待しつつ、教室の発展に努力してまいりたいと思います。

全国高専大会開催

本大会は、東日本大震災で被災した茨城笠松運動公園の代替地として、長野高専と長野・長野市陸上競技協会がお引き受けした。4月からの短い準備期間だったが、全国8地区の予選を突破した57キャンパス 511名の高専生が集い、全国高専新が2種目、大会新記録が6種目に誕生するなど、熱戦が繰りひろげられた。

主催：(社)全国高等専門学校体育協会
公益財団法人日本陸上競技連盟



歓迎のこたば
小坂 憲次 長野陸協会長



選手宣誓 島田 康陽
長野高専陸上競技部長



藤森 茂幸 審判長 競技開始宣言



スタンドにも全国から大勢のファンが来場した

富士通陸上競技部長距離クリニック開催

去る7月23日、長野市営陸上競技場に於いて、富士通株式会社長野工場主催、長野市陸協共催による、標記クリニックが開催された。指導者は、富士通陸上競技部、福島正監督、岩水嘉孝選手、井野洋選手、高橋健一長距離コーチ、杉浦隆司トレーナー。受講者は、長野市内12の中学校から陸上競技部員95名が集いました。クリニックは、ウォーミングアップや調整運動を含め、午前中の2時間、軽快なBGMが流れる競技場で、熱心に開催されました。

1000mのタイムトライアルでは、選手も併走して下さり、適切なご指導のおかげで自己ベストを更新する参加者が多数出ました。選手達への質問コーナーでは、杉浦トレーナーからの怪我予防法を含め、的確なアドバイスをもらうことができました。最後に選手のサイン



の怪我予防法を含め、的確なアドバイスをもらうことができました。最後に選手のサイン



会もあり、大変盛り上がったクリニックとなりました。

暑い時期でのクリニック開催で、参加者の体調が心配でしたが、無事にクリニックを終了することができました。当初の予想を上回る参加人数となり、関係者からは、「来年以降もぜひ続けて欲しい」との声を戴いております。

ご参加いただきました中学陸上部の皆さん、そして顧問の先生方、本当にありがとうございました。

お疲れ様でした。【本文・写真提供：富士通(株)長野工場】



第7回

市陸協を支えて下さる方々

(財)長野市体育協会の皆様



山口国体壮行会(9/26)

左から 松倉専務理事・事務局長、中野・今村、鷲沢会長(市長)、寺島、北原



左から 事務局山崎様、事務局中澤様、松倉専務理事・事務局長 常務理事(体育課長)洪澤様、係長堀内様

日頃、当協会の事業につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

(財)長野市体育協会は、スポーツを振興して市民の体力の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図ることを目的として、加盟競技団体が主催する市民体育祭等のスポーツ振興事業、競技団体が実施する競技力向上事業に補助を行っています。

平成16年度からは、従来の選手強化補助事業に加え、「スポーツを軸としたまちづくり」を目指して各種スポーツの競技力向上を図り、平成25年度までに国体出場県選手団に占める長野市出身者を20%とする目標を掲げた「競技力向上基本構想補助事業」を実施して、競技団体が行う競技力・指導力の強化に対して補助しています。

具体的には、特別強化指定選手・特別強化練習指導者等を認定し、認定証を交付すると共に、強化練習に係る経費を負担しています。また、国民体育大会や全日本選手権等での入賞を目指す8競技団体を「重点強化競技団体」として補助し

ています。

貴協会は、この「重点強化競技団体」の1つですが、長野県市町村対抗駅伝12連覇、同小学生部門の2連覇、そして昨年の第59回長野県縦断駅伝での優勝、そして、毎年、国体やインターハイ等の全国大会へ数多くの選手が出場するなど、貴協会の取り組みが、素晴らしい成果をあげられていることは、当協会としても大変嬉しく思っております。

これは、講習会や記録会、競技会を会員の皆様により数多く開催され、伸び盛りの選手にとって充実した競技環境を整えられていること、また、指導者間のパイプがしっかりとし、組織として選手を育成・強化されていること、そして何より、ひたむきな選手を支える小中高の先生方、クラブコーチの皆様の献身的なご努力と、情熱の積み重ねの賜と思えます。

今後も、競技力の向上にご尽力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝ご活躍並びに貴協会の益々のご発展を祈念申し上げます。

平成23年度 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 長野市関係 (北上総合運動公園陸上競技場)

会場：岩手県北上市 北上総合運動公園陸上競技場、期日：2011年8月3日(水)～8月7日(日)

瀧澤 彩(長野2年) 400mH 優勝 1'00"01、準2組 3着 59"32、予3組 1着 1'01"10 (市内関係の入賞者は1名のみ)

	氏名	学校名	学年	出場種目	結果
男子	今村 迅人	北部	3	100m	予3組 6位 11"00(-0.4)
	今村 迅人	北部	3	200m	予2組 5位 22"28(+0.7)
	中野 直哉	長野吉田	2	400mH 準2組	7位 54"76、予7組 3位 53"32
	吉見 悠斗	長野日大	3	3000mSC	予4組 失格
	北原 亮	長野	3	5000mW	予2組 失格
	木藤 星・中野 直哉・齊藤 新・小島 正大	長野吉田		4×100mR	予2組 9位 43"57
	宮林 凌汰	長野工	2	棒高跳	予1組 なし
	羽生田 宇恭	長野日大	3	三段跳	予2組 16位 13m99(+1.0)
	野崎 隼冬	長野工	2	砲丸投	予3組 16位 13m02
	木田 真美子	長野吉田	2	800m	予1組 4位 2'16"78
女子	真柳 亜美	長野東	2	3000m	予3組 12位 9'46"61
	瀧澤 彩	長野	2	100mH	予6組 6位 14"85(0.0)
	菊地 初音	長野東	3	5000mW	予2組 13位 25'45"26
	檀原 三枝・村上 りさ子・内山 成美・木田 真美子	長野吉田	3	4×100mR	予2組 9位 43"57
	渡邊 莉帆	長野商	2	砲丸投	予1組 15位 10m66
	原山 祐希	文化学園長野	3	円盤投	予2組 27位 32m77
	大日方 紗愛	文化学園長野	2	七種競技	20位 4109点

県内の入賞者
 小林 巧(下諏訪向陽3)
 3000mSC 優勝 8'57"13
 山本 瑞(小諸3)
 400m 4位 55"42
 800m 優勝
 2分06秒07(長野県・
 県高校新記録)



山口国体フラワーボックス
 山口県産の材木を使用

Member's Corner 4th

佐藤 善一さん 今回は80歳を過ぎてもお元気で「風速計測員」としてグラウンドコンディションを厳しくチェックされている佐藤さんにご登場いただきました。元気で活躍できる秘訣をお尋ねしたところ、「謙虚な気持ちで、日々感謝することですかね・・・」と、まさしく人生の大先輩の重いひと言をいただき感銘しました（内山）。



大会役員記念 S59. 4. 29



計時係 競技の間の休憩 S51

◆審判員歴と動機

昭和42年4月第3種公認審判員を取得し現在に至る。動機は、当時町体育指導員としての社会体育振興活動中、故古澤久二郎先生が野尻湖中学校に居り、黒姫高原に陸上競技場の建設が企画されていました。その際に、ご指導と大会運営にご苦労頂いた先輩各位にご恩は返せないの、後輩諸君を通した恩返しをと考え、審判資格を得て長野市陸上競技協会への入会要請もあり、10名程が取得しお世話になりました。私も体指として競技場建設企画にも参加し、昭和45年8月5日、町黒姫陸上競技場が第3種公認の許可。以降、平成19年8月諸先生のご指導を賜り、トラック3レーンを全天候型に改修、広く選手諸君の強化の場に役立てることができました。審判実績は、競技者係・跳躍・監察・決勝・計時・風力測定など。

◆競技歴

戦後も安定した中、社会人として競技者登録をして競技を継続。体育活動の一端として昭和28年11月各郡・各市対抗陸上競技大会が松本浅間県営競技場で開催され、地区予選を経て1人1種目の規定で、短距離（100m・200m・スウェーデンリレー等）に参加。地元勤務していたので、故小日方佐一様ほかの先輩のご指導を受け、個人種目で毎年上位入賞を果たすことができました。さらに郡内参加者の努力により、

1度は団体優勝し、北信上水内郡の存在を高く示しました。それを前後にして近年まで信濃町小中学生や社会人愛好家への指導や地域の陸上競技会へ参加など、振興発展に努めてまいりました。

◆審判員として

友に会い、自分の好きな陸上大会に参加し、各選手諸君の活躍を見て、この上ない喜びを感じております。激励・ミスのない判断・設備の使用保全などに万全を期し、思いやりと緊張感を持ちつつ、担当職務を遂行したいと考えております。若い審判員諸氏はそれぞれの勤務で大変かと思いますが、将来の長野県陸上会の展望を期し、経験を重ね活躍を期待しております。

◆職業

信越化学工業（株）関連の地元企業の電気主任技術者を退職し、現在は地元電気工事会社の技術顧問

◆おわりに

自慢話のようで恐縮ですが、昔を思い一端を記し、今後もおご指導・ご交誼いただきたくお願いいたします。

第38回全日本中学校陸上競技選手権大会

期日：8月19日（金）～8月22日（月）

会場：鴻ノ池（奈良）

種目	氏名	学校名	学年	予選
【男子】				
共通100m	池田 彪我	川中島	3	11.82(+0.1) 8着
共通200m	池田 彪我	川中島	3	23.64(+2.9) 7着
共通200m	宮林 紘汰	更北	3	23.55 7着
共通800m	碓井 涼太	西部	3	2.00.88 3着
共通4×100mR	中澤 弘輝	櫻ヶ岡	3	45.47 7着
	尾形 優也		3	
	大日方 景都		2	
	戸田 樹		3	
【女子】				
共通1500m	玉城 かな	川中島	3	4.41.53 10着

第46回全国高等専門学校陸上競技大会

期日：8月27日（土）～8月28日（日）

会場：長野市営陸上競技場

長野高専入賞者		
【男子】		
山本 龍一	200m	5位 22秒38(+2.4)
	400m	6位 50秒35
島田 康陽	5000m	8位 16分23秒30
	4×100mR	6位 43秒23 (伊東 良容, 山本 龍一, 岩崎 晴也, 柴田 晃太郎)
【女子】		
吉原 沙季	100m	3位 13秒25
藤澤 緑	砲丸投	6位 8m72
	円盤投	3位 26m40
	4×100mR	4位 54秒90 (森山 愛里, 藤澤 緑, 日極 りな, 吉原 沙季)

第27回小学生陸上競技交流大会 長野市関係出場者無し

期日：8月27日（土）～8月28日（日）

会場：日産スタジアム（神奈川）



訃報 元市陸協会長
古澤 久四郎 先生 を偲ぶ

伊藤 利博

私達の先達として、陸協の会員を導き、ご指導いただいた古澤久四郎先生が、桜の開花を前にして脳梗塞で倒れられ、三ヶ月のご家族の看病もむなしく、天国へ旅立たれました（H23年7月26日）。

長野市陸協の巨星がまた一つ墜ち、とても寂しく思います。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

暖かい心を持って、時には叱咤激励をして下さった先生のお声はもう聞くことができません。ほんとうに残念でたまりません。

長野市陸協の理事長、会長として14年間の永きにわたり、私達の先頭に立って陸協の運営発展のためにご尽力いただきました。

長野市陸協50周年記念事業には、記念式典、記念誌の刊行等骨身を惜しまず中心になってやり遂げられました。先生は質実剛健な気質と包容力を持って、私達を引っ張って下さり、先生から多くの事を学び勉強させていただきました。まだまだお教えいただきたい事が沢山あり、大変残念に思います。

このお教を私達が受け継ぎ、後輩へつないでいかなければと思っています。

どうぞ心安らかに眠り下さい。そして私達を見守っていて下さい。（合掌）



1992年11月TV番組表に掲載された写真（ご遺族 古澤 憲彰様 ご提供）

「まず」「強し」「から走る」「であつてほしいです。」
長野市陸上競技協会会長 古澤

第66回 山口国体速報 <長野市関係者>
中野 400mH 3位入賞、北原 5000mW 7位入賞
峰村 1500m 7位入賞

あなたならどう判断しますか??

玉城監督(長野東高教員)が国体中に直面した問題です。決勝進出は何名でしょう？

準決勝は3組2着+2の条件、9レーンの競技場。

少年A 100m 準決勝

順位	1組	順位	2組	順位	3組	備考
1	10.62	1	10.73	1	10.47	
2	10.74	2	10.78	2	10.58	
3	10.84	3	10.87	3	10.59	
				4	10.75	着差有り
				5	10.75	

少年B 100m 準決勝

順位	1組	順位	2組	順位	3組	備考
1	10.89	1	10.61	1	10.73	
2	10.92	2	10.84	2	10.93	着差無し
3	10.95	3	10.94	2	10.93	

●どちらも9名が決勝へ進出！詳細は審判講習会で

- 【男子】 4×100mR(岩田・今村・樋口・佐藤 準決勝7着 40秒80)
 - 成年110mH 早川 恭平(早稲田大2 吉田0B) 予選6着14秒12(+0.3)
 - 少年A100m 今村 迅人(北部高3 長野市) 予選7着11秒02(+0.1)
 - 少年A400mH 中野 直哉(長野吉田高2) 予2着52.04、3位 51秒73
 - 少共通5000mW 北原 亮(長野高3) 7位 22分02秒56
 - 【女子】 4×100mR(田原・田中・鈴木・今井 準決勝7着 47秒01)
 - 成年1500m 峰村 いずみ(中央大3 吉田0G) 7位 4分20秒38
 - 少年A100mH 瀧澤 彩(長野高2) 予選6着14秒97(0)
 - 少年B100m 鈴木 千穂(長野吉田高1 飯山市) 予選6着12秒89(+0.4)
- 【全選手に対する市内選手が占める割合：6名/29=20.7%】

事務局より 連絡とお願い

- ◆10月23(日)長野スポーツフェスティバル、11月13(日)キッズランは審判員不足です。出席可能な方は至急西内審判部長までご連絡下さい。ご協力をお願いします。
- ◆大竹義雄先生「秩父宮章」受章祝賀会は12月11(日)11時30分開宴 長野ホテル犀北館
- ◆登録未完了の方は至急村田総務部長へ手続きをお願いします。
- ◆平成23年度長野市陸協第2回理事会が開催された。日時：平成23年9月4(日)16時15分～16時45分、長野市宮陸上競技場会議室、出席者29名/50 (以上、理事長 内山了治)

◆ 編集後記 ◆

さわやかな風が吹く過ごしやすい季節を迎えました。秋といえば、収穫・食欲・スポーツ・読書など、たくさん楽しみがある季節です。

先日韓国のテグで開催された第13回世界陸上競技選手権大会では、テレビ観戦を楽しみにしていた陸上競技ファンも多かったことと思います。日本を代表する室伏広治選手やウサイン・ボルト選手をはじめ、各国を代表する世界の走り・跳躍・投擲には物凄さを感じました。また、地元長野県からは、佐久長聖高校出身の佐藤悠基選手が10000mで初出場を果たし、身近な選手の活躍を心強く思いながら声援を送り続けました。今後のさらなる活躍を心待ちにしております。

間もなく今年のトラックシーズンも終わりに近づきますが、来シーズンが実りある豊作のシーズンとなるようこれからの冬期トレーニングに期待したいと思います。(広報部長 田島康彦)

Track & Field
ATHLETIC UNIFORM
スクールスポーツウェア専門
しなのメイト株式会社
(本 社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟県東区東中島2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216
THIS IS A CHALLENGE TO ME.